

令和8年度 茨城県立農業大学校評価表

重点目標Ⅱ 【 社会性を養う教育内容の充実 】

1 現状及び課題、並びに評価項目

現 状	課 題	評価項目（達成目標）
○学生は卒業後社会人となり農業及び地域社会の担い手として広く人間関係を構築していく社会性が求められる。 ○当校の卒業生には地域で指導的な役割を果たす優れた農業者が県内各地に多く、また、農業経営士や農業法人経営者等とも派遣実習や特別講義の授業などを通じ長年にわたる交流がある。学生が在学中に社会人として必要な資質を学ぶうえで協力を得られやすい環境にある。	○学生の中には人とのかかわりあいが苦手だったりとコミュニケーションに個人差があり、社会性が不十分な学生が散見される。優れた農業者などを講師とする講演や実習の機会を充実させ、農業に関わる社会人としてどのような資質が必要なのかを学び、身に付けさせる必要がある。	社会人としての資質向上 ・社会人として資質が向上したと回答した学生の割合 100%
○学生は自立に向け社会性を身に付けている最中であり、寮生活、自治会活動とも主体的な運営には職員の助言指導が必要な場面がみられる。 ○農大では共同生活を通じ学生活動や寮生活を送る中で自立と協調の精神をかん養する教育を目指している。自治会活動では学生自身が自主的・民主的に学生生活を運営することで学生生活と各種活動の充実と向上を、寮生活では共同生活を通じ連帯感と自立精神、学生相互の交流の中で協調性や主体性を養うことを目指している。	○学生の中には規律性に対する意識が低い者や全体的に消極的な態度の者も見られる。職員が助言指導を行い、学生全体が寮生活や自治会活動を自主的に運営できるように促し、自立と協調の精神を身に付けられるように指導する必要がある。	学生活動の充実 ・委員会活動回数 （農業部・園芸部各々年12回） ・環境美化活動回数 （農業部・園芸部各々年4回） ・学生自治会活動回数 （農業部・園芸部各々年5回） ・学生生活が充実していたと回答した学生の割合 100%

2 評価項目別の評価及び次年度の課題等

（1）社会人としての資質向上

達成目標	達成度	評価の概要	関係者評価委員会からのコメント（全般）
社会人として資質が向上したと回答した学生の割合 100%			

達成度の評価基準	
A	90%以上の達成
B	75～89%の達成
C	60～74%の達成
D	45～59%の達成
E	45%未満の達成

目標達成に向けた具体的方策	具体的方策の取組実績及び成果	次年度の課題	関係者評価委員会からのコメント
ア【継続】農業に関わる社会人に必要な資質とは何かを学び、身に付けるための教育の実施 ・将来に向け社会性を学ぶため、農業経営士、女性農業士、青年農業士、農業法人経営者等による講義を実施する。 農業部3回、園芸部2回 【R7実績：農業部3回、園芸部1回】 イ【拡充】コミュニケーション能力向上のための教育の実施 ・有識者による講演を実施する。（コミュニケーション、SNS） 農業部2回、園芸部2回 【R7実績：農業部2回、園芸部1回】 ・農産物直売活動における商品知識や接客〔挨拶、言葉遣い等〕について事前に学習するとともに、顧客との対面による接客を実施する。 農業部、園芸部で各3回/月以上 【R7実績：販売実習活動3.3回/月】 ・効果確認アンケートの実施			

ウ【継続】資格免許等の取得促進 ・免許取得促進のため、学生への情報発信、助言・指導を行う。 延べ資格免許の取得数：13種類 【R7実績：13種類】			
---	--	--	--

(2) 学生活動の充実

達成目標	達成度	評価の概要	関係者評価委員会からのコメント（全般）	達成度の評価基準	
・委員会活動回数 （農業部・園芸部各々年24回） ・学生自治会活動回数 （農業部・園芸部各々年5回） ・学生生活が充実していたと回答した学生の割合 100%				A	90%以上の達成
				B	75～89%の達成
				C	60～74%の達成
				D	45～59%の達成
				E	45%未満の達成

目標達成に向けた具体的方策	具体的方策の取組実績及び成果	次年度の課題	関係者評価委員会からのコメント
ア【継続】学生活動に関する情報の共有 ・農業部・園芸部の職員が学生の活動状況を共有し、学生に対して共通認識をもって助言・指導ができるよう、生活指導委員会を開催する。 生活指導委員会開催回数：3回/年 【R7実績：3回/年】 イ【継続】寮の生活環境改善への助言・指導 ・職員が、寮の巡回を月1～2回程度行い、寮に関する課題を確認しつつ、生活環境の改善について自治会が主体的に取り組めるよう、自治会長や関係委員会に助言・指導を行う。 助言・指導：随時 【R7実績】委員会活動数：農業部32回、園芸部30回 ウ【継続】学生自治会活動への助言・指導 ・学生が各種活動を自主的に計画・実施できるよう、助言・指導を行う。 ・行事開催後に反省や感想についてアンケートを行い、改善策を立て実行を指導する。 主な活動予定 農業部：新入生歓迎会、体育祭（5月）、学科・コース大会（6月）農大祭（11月）、東関東農大交流会（11月）、2年生を送る会（2月） 園芸部：体育祭（5月）農大祭（10月）、東関東農大交流会（11月）、地域美化活動（1月）、2年生を送る会（2月） 【R7実績：農業部：年6回、園芸部：年5回】 ・体育祭、農大祭のアンケートの実施 各1回 学生生活に対する意見聴取アンケートの実施 1回（1月） ＜拡充＞			